

～はじめに～



みちこちゃん

まちおくん

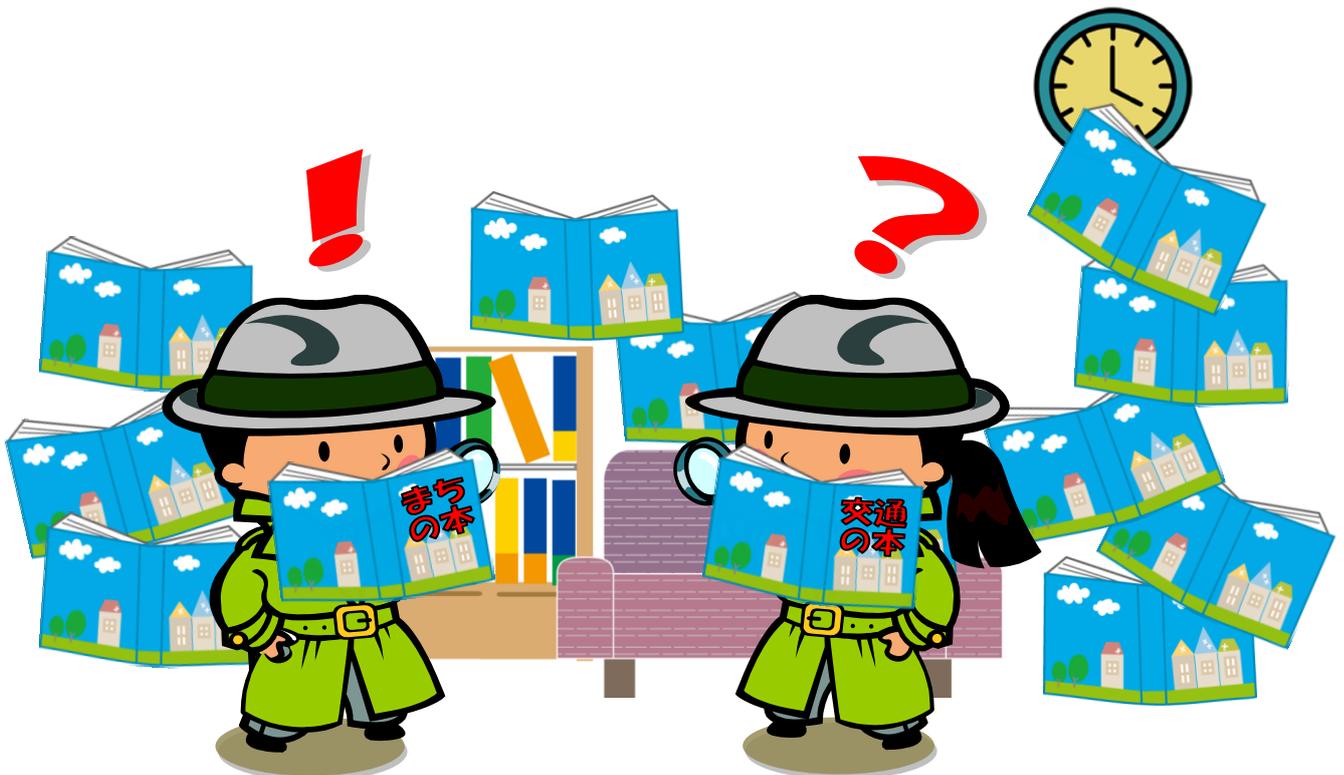
まちおくとみちこちゃん

ある日のこと

きょう 今日も、まちづくり探偵団員のまちおくとみちこちゃん
は、調べものをしていました。たくさんの資料を読むのも
たんてい しごと 探偵の仕事。

ほん 本にうもれそうになりながらも、まちおくとみちこちゃん
は、むかし はなし よ 昔の話を読みふけてました。

すると、ふしぎ はなし 不思議な話が…。



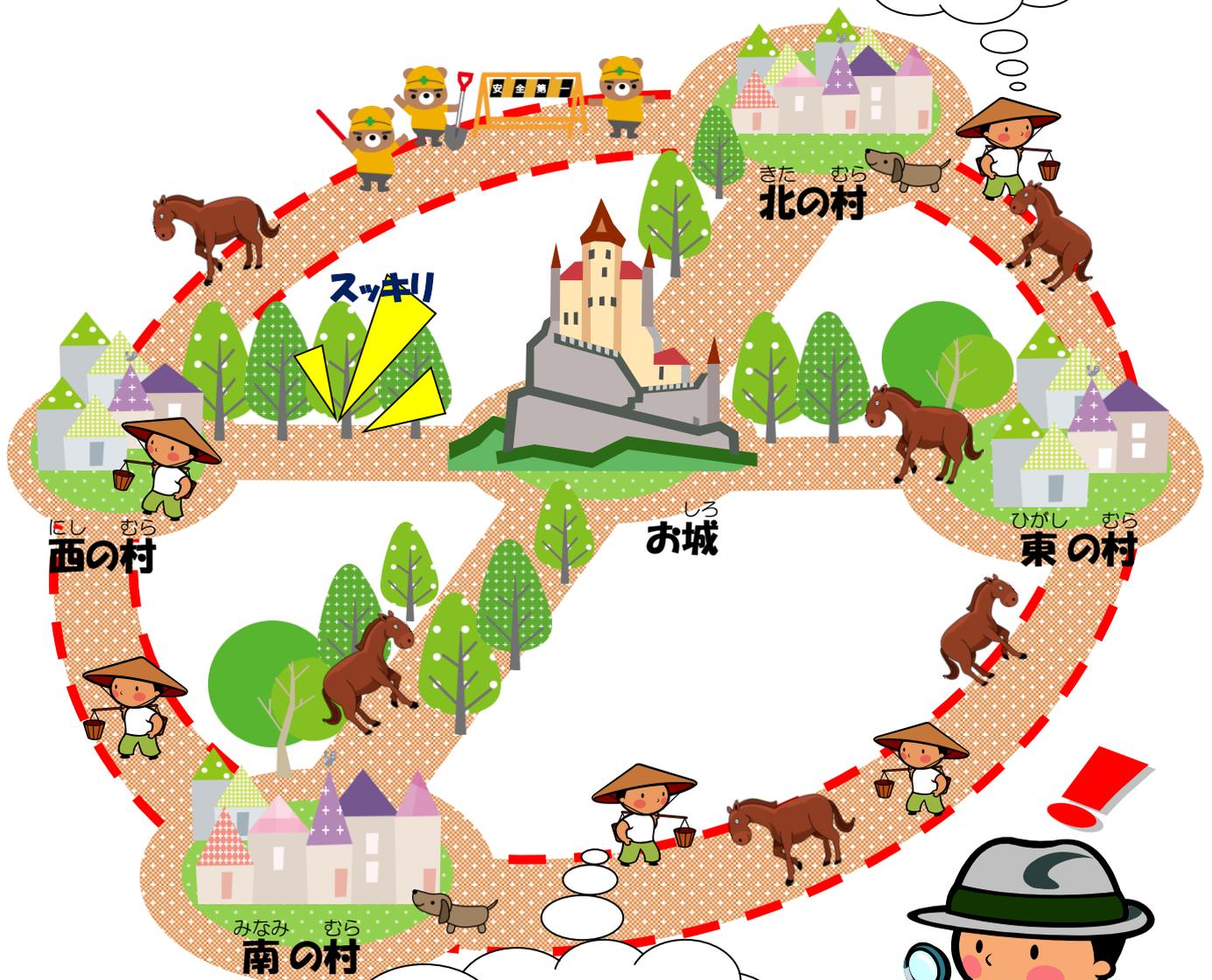
むか～しむかし、あるところに、お城がまん中^{なか}にあって、それを囲むように村がならんでいる国^{くに}がありました。ところが、村からはお城につながる道^{みち}が一本しかありませんでした。

そうすると、ほかの村に行くにはお城を通らねばならず、お城につながる道は、いつも人^{ひと}や馬^{うま}でいっぱいになり、大変なことになっていました。



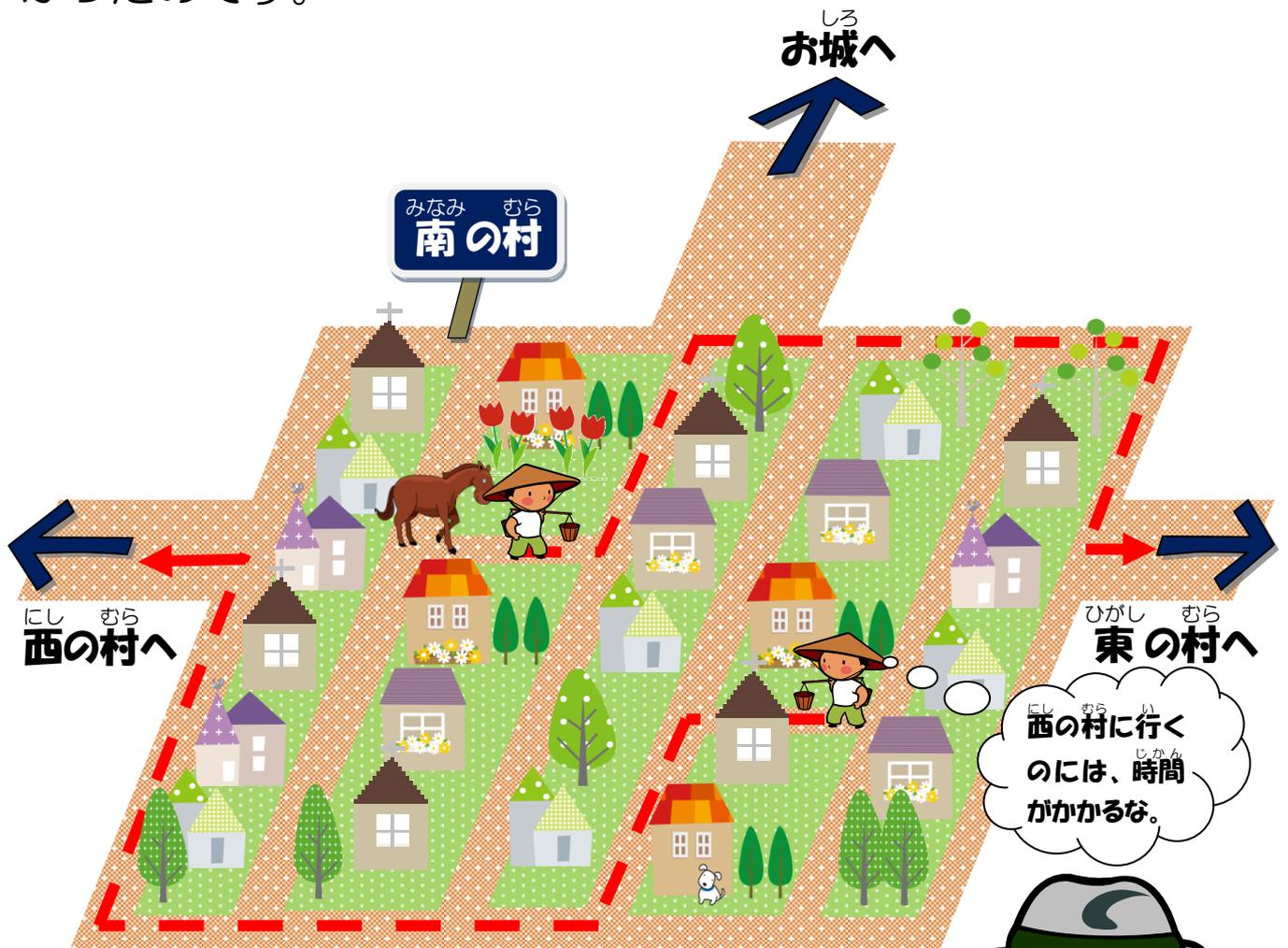
そこで王様は、それぞれの村をつなぐように、ぐるりと道を通しました。これで、ほかの村に行くためにお城への道を通ることが少なくなり、お城につながる道もすっきりしました。めでたしめでたし…と思いきや。

この道はとてもべんいだ。



この道を「環状道路」といいます。
環状とは、「輪のようなまわりかたち」のことです。

じつは、^{みなみ}南の村では、^{むら}村の道が^{むら}お城に向いているものが^{おお}多
 かったのです。そのため、^{むら}村の^{ひがし}東がわに^す住む人は^{にし}西の村に、
^{むら}村の^{にし}西がわに^す住む人は^{ひがし}東の村に行くのにと^いとても^{じかん}時間がかか
 ったのです。それに、^{だんさ}段差のある^{みち}道も^{おお}多く、^{ある}とても^あ歩きにく
 かったのです。

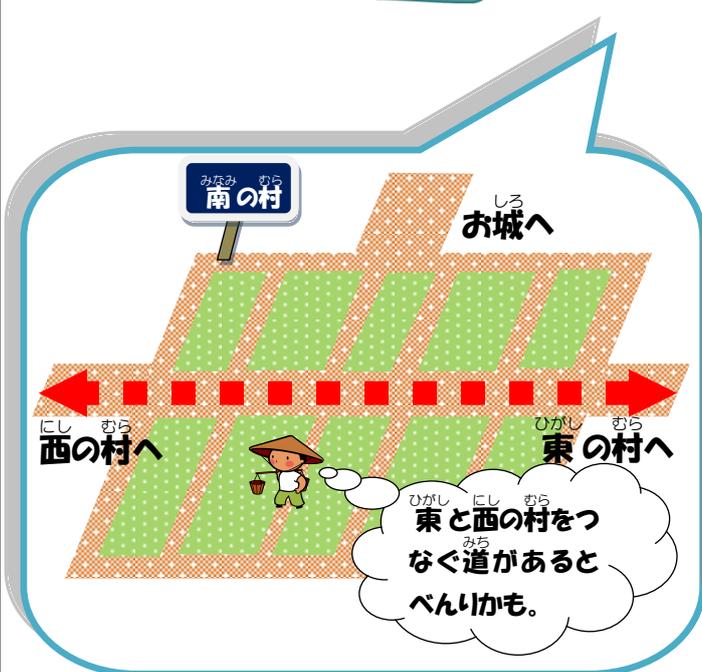


にしむら 西の村に行く
 のには、^{じかん}時間
 がかかるな。



そこで、^{みなみ}南の^{むら}村の^{そんちょう}村長と^{むらびと}村人たちは、^{むら}となりの^い村に行き
^{べんり}やすい、^{みち}便利な^{むら}道を^つ村に^{なんど}作ろうと^{はな}何度も^あ話し合いました。

また、^{みち}ただ^{とお}道を通すだけでなく、^{ひと}どんな^{とお}人でも通れるよう
^{だんさ}に、^{みち}段差のない^{はなし}道にしようなどと、^{はなし}いろいろな話をまとめ
 ました。



しばらくして、^{みなみ} 南の村には、^{ひがし} 東の村と^{にし} 西の村をつなぐ^{みち} 道
 ができ、もともとあった村の道も^{むら} 段差のない^{みち} 道になりました。
 それからというもの、その村は^い たいへん^{むら} 住みやすい^す 村にな
 りましたとさ。

めでたし、めでたし。



まちおくとみちこちゃんは、この話^{はなし}をまちづくり
探偵団長^{たんていだんちょう}に報告^{ほうこく}しました。

すると、団長^{だんちょう}は「その話^{はなし}は聞いたことがあるぞ。ただ、
それは言い伝え^{い つたえ}ではなく、実際^{じっさい}にあるといううわさだ。よ
し、そのうわさが本当^{ほんとう}かどうか調べてきてくれ。」

こうして、まちづくり探偵団員^{たんていだんいん}のみんなとまちおくとみ
ちこちゃんとの今回^{こんかい}の任務^{にんむ}が、まくを開ける^{あけ}のである。

さあ、うわさが本当^{ほんとう}なのか、その場所^{ばしょ}に潜入^{せんいゆう}しよう！！



まちづくり探偵団長^{たんていだんちょう}